

様式第 8 号

令和 年 月 日

岡山県知事

殿

(補助事業者)

所在地(住所)

名称(屋号)

代表者職・氏名

デジタル化による生産性向上等支援補助金実績報告書

令和 年 月 日付け、岡山県指令産企第 号の交付決定通知に基づき、補助事業を実施したので、デジタル化による生産性向上等支援補助金交付要綱第 11 条の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

添付書類

(1) 補助事業実績報告書

(2) 別紙「補助金経費支出実績明細書」

※小規模事業者は別紙 2、その他の中小企業者は別紙 1

(3) 知事が必要と認める書類

補助事業実績報告書

1 補助事業者の概要

企業名(屋号)	
本社所在地(住所)	〒 -
代表者名	(役職) (氏名)
補助事業の実施場所	(事業所名) (住所) 〒 -
担当者名・連絡先	(役職) (氏名) (E-mail) (TEL) (FAX)
従業員数 (役員等を除く)	人

2 事業内容

事業計画の名称	受注・在庫管理による生産性向上
取組内容	【実施前の課題】 当社は、従来の手作業中心による管理体制を続ければ、今後の事業規模の拡大に伴い間接業務がさらに増加し、賃上げ原資の確保が困難になるという問題が顕在化していた。そのため、以下の取組を行い生産性向上を目指した。 【実施経過】 ① クラウド型受注・在庫管理システム「〇〇〇〇」の導入と初期設定（商品マスタ登録約 300 品目、既存 Excel データからのデータ移行作業含む） 〇月〇日に作業を開始し、〇月〇日に納品を受けた。 ② 〇〇〇〇システム利用期間（R8.10～12月）・3か月 ③ 周辺機器導入（バーコードリーダー・ラベルプリンター） 〇月〇日に納品を受け、操作研修の後、運用を開始した。 ④ 技術指導（全2回、10月8日・10月15日 各3時間） ・第1回 在庫管理の業務フロー設計とシステム運用ルール策定 ・第2回 売上データ分析手法の習得と生産計画への活用方法

実施した事業 による成果	【効果】 本事業の実施により、以下のような効果があった。 ① クラウド型受注・在庫管理システム「〇〇〇〇」の導入によって、 受注処理時間は、従来の75%削減 月末棚卸時間は、従来の87.5%削減 在庫差異も大幅に改善できることが分かった。そのため来年度以降は年 間で以下のような効果が得られると見込んでいる。 <table border="1" data-bbox="512 566 1406 712"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状</th> <th>導入後</th> <th>定量的効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受注処理時間</td> <td>40分/件</td> <td>10分/件</td> <td>年間約360時間削減</td> </tr> <tr> <td>月末棚卸時間</td> <td>16時間/月</td> <td>2時間/月</td> <td>年間約168時間削減</td> </tr> <tr> <td>在庫差異</td> <td>年間30件</td> <td>5件以下</td> <td>欠品・過剰在庫抑制</td> </tr> </tbody> </table> ② 周辺機器（バーコードリーダー・ラベルプリンター）の導入は、在庫管 理の工数が大幅に削減できただけでなく、従業員の作業負担軽減につ ながったことによるモチベーション向上の効果も大きい。 ③ 上記の効果が得られたことにより、生産性向上が実現できる見通しが立 った。販管費率の低減により、年間では300万円以上の利益改善が可能 となり、従業員の賃上げ原資を確保できる見込みである。		現状	導入後	定量的効果	受注処理時間	40分/件	10分/件	年間約360時間削減	月末棚卸時間	16時間/月	2時間/月	年間約168時間削減	在庫差異	年間30件	5件以下	欠品・過剰在庫抑制
	現状	導入後	定量的効果														
受注処理時間	40分/件	10分/件	年間約360時間削減														
月末棚卸時間	16時間/月	2時間/月	年間約168時間削減														
在庫差異	年間30件	5件以下	欠品・過剰在庫抑制														
事業実施期間	令和 8 年 9 月 2 8 日 ～ 令和 8 年 1 2 月 3 1 日																
事業実施期間における 収益の有無	有 ・ 無																

※事業内容について報告書等があれば添付してください。

※収益があった場合には別途、様式および資料を提出いただきます。